



# コムワンだより

No.81  
H30.11.13

冬の間、局地的な大雪が予報されることがあります。降雪や凍結は危険につながる場合がありますので、気象予報をこまめに確認することが大切です。同時に、降雪・凍結に備えた対策を考えておきましょう。

## 雪天氣の注意事項

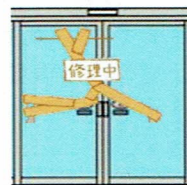


### 落雪注意

高い屋根や庇から固まった雪が落ちると危険です。真下など、落ちてきそうな場所に、看板や掲示での注意喚起をお勧めします。



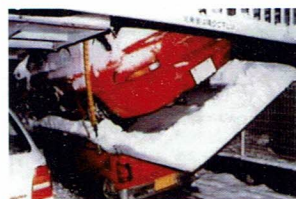
足元は滑りやすくなります。外出しなければならぬとき、特に階段や、走行中の車のそばは危ないので、一歩ずつ慎重に歩きましょう。



ひび割れた窓ガラスがあるときは注意しましょう。強い風でさらに割れ、室内に冷たい雪や風が入る可能性があります。

## 立体駐車場の注意事項

積雪時は、雪の重さや凍結によって機械が動かなくなったり、部品が破損したりすることがあります。ひどいときはパレットが落下するなど、事故やトラブルの原因になります。大雪や凍結が予想されるときは、あらかじめ車を別の場所に一時退避させるなど、必要な対策をとるようにしましょう。



## 除雪の道具と作業の注意点

積雪しやすい地域や過去に積雪で被害にあったがことのあるマンションでは除雪用の道具を準備されていることと思います。一方、雪が降ることの少ない地域でも、気象条件によっては記録的な大雪となる可能性があります。除雪用の道具がないようでしたら、以下のような道具を揃えてはいかがでしょうか。



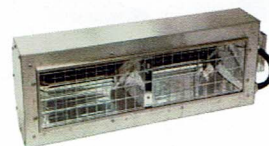
### 除雪ダンブ

広範囲の除雪や雪を融雪溝や雪置き場に運ぶのに便利です。



### 除雪スコップ

事前に用意しておけば、便利です。使いやすく除雪に効果的です。



### 遠赤外線照射融雪装置

遠赤外線照射で雪を溶かす機械です。小面積の融雪に適しています。



### 発電機

雪の影響で停電となることがあります。コンセントが必要なとき、発電機が役立ちます。



### 融雪剤

水に溶ける際に発熱し、再凍結を防ぎ、労力もかかりません。



### AED

もし倒れた方がいるとき、AEDが助けになることがあります。備えておくことをおすすめします。



# コムワンだよりからのお役立ち情報



マンションでは「音」が騒音として問題に発展してしまうことが少なくありません。また、音の感じ方は人それぞれですので、思いがけないことがトラブルの原因となることもあります。今回、日常生活の音についてご案内いたします。

## 騒音となりやすい発生源

### 足音

走り回る音や飛び跳ねる音は、階下だけでなく、隣接住戸にも思いのほか響きます。ご注意ください。



### ペットの鳴き声

ペットに関しては「無駄吠えをする」、「早朝や深夜に吠える」といったことが問題になりやすいです。

### 楽器・音響機器等

時間帯に配慮し、窓を閉めて使用しましょう。楽器により規約で禁止している場合があります。十分にご確認ください。



### 洗濯機の振動、掃除機の音

振動する機器や、モーターの音も響きやすい音のひとつです。時間帯に配慮しましょう。

## 騒音の基準

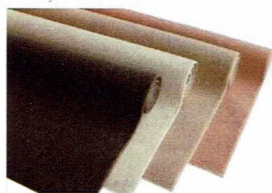
一般的に「騒音」とされるかどうかについては、環境庁により具体的な基準値が定められています。住宅地域では昼間の騒音は55デジベル以下、夜間の騒音は45デジベル以下が理想的とされています。また、どのような環境でも夜間になると周囲が静かになり、小さな音もより聞こえてきます。マンションではお互いに配慮することが大切です。

生活騒音(具体例)	音の大きさ(デジベル)	生活騒音(具体例)	音の大きさ(デジベル)
家庭用設備・機器	エアコン	音響機器	ピアノ
	換気扇		テレビ
	洗濯機	その他	犬の鳴き声
	掃除機		子供のかけ足
	電話のベル音		人の話し声(日常)

出典：東京都環境局

## 騒音の対策

マンションでは、多くの方が気持ちよくすごせるよう、家具などに音を軽減する対策を施しておくことも大切です。音を軽減するための具体例をご紹介します。



### 床にカーペットを敷く

じゅうたん、カーペットを敷いておくことで、物の落下音や足音を緩和することができます。



### 防音カーテンを付ける

防音カーテンは防音・遮音性に優れ、日常の生活音を緩和します。また、カーテンは音だけでなく外からの熱も防ぐ効果があります。



### 椅子の足にカバーを付ける

椅子を引く際の音も階下に響きやすい音です。カバーを付けてあげることで音を緩和することができ、床も傷付きにくくなります。

## 前号掲載に関する訂正及びお詫び

2018年10月12日に発行いたしました『コムワンだより No.80』で、地震に関する表記誤りがございました。大変申し訳ありません。以下の通り訂正させていただきます。

訂正：今後30年以内にM8～M9クラスの「南海トラフ巨大地震」とM7クラスの「首都直下地震」の発生確率は70%と予想されています。